

地域の願いがつくった512番目の市立学校

横浜市立美しが丘西小学校(神奈川県)

人口が増え続けてきた横浜市北部の美しが丘西地区では、小学校への通学にバスを使わなければならない児童が増え続ける現状を受けて、平成25年4月、この地域に512番目の市立学校として美しが丘西小学校を開校した。



北側外観。校舎は3階建てだが、グラウンドに影を落とさないように北側は2階建てとなっている



普通教室。空調設備も導入されているが、設計では窓を開放して風を取込めるように配慮されている



南側外壁



南側外観。バルコニーや校舎内の窓には転落防止に緑色のFRPグレーチングを取付けた。デザインにも活かされている



各階のほぼ中央部に多目的スペースが整備されている。窓の外に外観同様グレーチングが取付けられているのがみえる



鉄骨の梁もデザイン上の工夫がされている体育館

地域の願いがつくった512番目の市立学校

横浜市立美しが丘西小学校(神奈川県)

校長：生出宏

所在地：神奈川県横浜市青葉区美しが丘西二丁目48-1

電話：045-902-0450

開校初年度から800名の児童でスタートした横浜市立美しが丘西小学校。校舎には多目的スペースをはじめ様々な場所がつけられているが、一つひとつの場所が様々な目的で使われている場面をみることができた

地域の願いが つくった512番目の市立学校

横浜市立美しが丘西小学校(神奈川県)

児童の通学と学校規模の適正化を願う地域の思いから誕生した美しが丘西小学校。開校にあたり施設整備に対しても様々な意見が寄せられた小学校は、学校図書館を中心におく、多様な活動の展開を可能とする学校施設となっている。

開校までの経緯

横浜市青葉区の美しが丘西地区はかねてより住み続けている人もいるものの、近年の住宅開発によって人口が急増してきた地域である。地域の道の多くが坂になっており、傾斜地に沿って多くの住宅が建ち並んでいる。戸建住宅が主の住宅街だ。美しが丘西地区は市の最も北に位置しており、この地域に住む子どもたちは、市立元石川小学校やすすき野小学校、近隣の私立小学校などに通っていたが、元石川小学校に通う児童のうち最も遠くから通学してくる場合、自宅から2km以上の距離を通学することになるだけでなく、交通量の多い通りを横断しなければならないこともあってバス通学が行われていた。ところがその数も増え続けて300名を超えるまでになり、児童数が800名を超えていた元石川小学校ではプレハブ校舎を整備して教室の

確保に努めていたという。

地元から、学校規模の適正化と通学区域についての見直しと学校設置を求める動きがあり、小学校建設委員会が最初に発足したのが、平成15年である。その後、開校準備委員会が平成21年6月から平成22年2月まで開かれた。この中では、並行して行われていた校舎の設計に地域の意見を反映させるための施設要望に関する分科会が開かれ、地域が望む学校像として「人と人との出会いや結びつきを大切にする学校」「地域やまちとの結びつきを大切にする学校」「共に学び創造性を育む学校」の3点などが、施設整備に際して寄せられている。

こうして平成25年4月に開校した横浜市立美しが丘西小学校は、横浜市512番目の市立学校である。

配置計画

校地はほぼ正方形をした平坦な場

所である。周囲の地形は大きく北から南に向かって傾斜しており、北側と南側に沿った道路は若干東から西に傾斜している。北側は道路を挟んで住宅が建ち並んでいるが南側は交通量の多い通りに面し、さらに下ると公園が整備されている。そのため、校地の北側にグラウンド、南側が校舎などの施設という配置がとられている。

正門は北西側に設けられて校舎までのアプローチまでには敷地に沿って屋外体育倉庫とともに、防災備蓄倉庫が整備されている。昇降口は校舎北側のほぼ中央だが、まっすぐ南に向かって進むと校舎の角に地域交流室や放課後キッズクラブで使用する玄関が設けられている。

環境への配慮

施設は西からプール、体育館、各教室とゾーニングされ、校舎と体育館は一体的に整備されている。3階建てだが、グラウンドに落ちる影の影響を少なくするため、校舎の北側は2階で抑えられており、大きく分けてグラウンドを向いた北側に管理諸室や特別教室、南側が普通教室や個別支援教室という構成である。中



正門からみる美しが丘西小学校校舎。右側には屋外体育倉庫や防災倉庫が並んでいる



光庭



体育館の屋根を支える鉄骨



普通教室



視聴覚室



教室だけでなく、廊下や備品も使って多くの掲示がされている



学校図書館。奥がコンピュータ教室



コンピュータ教室



2室ある音楽室は広さやしつらえが異なる



昇降口前のエントランスホール



1階多目的スペース



特別支援学級にしつらえられた個別学習のブース

央には3カ所の光庭を組み込み、明るさを確保すると同時に特別教室や階段室が併せて配置されている。

現在、横浜市の市立学校は普通教室に空調が整えられているが設計時には未整備だったため、同校は夏期の室温対策が考慮された設計になっている。具体的には、ベランダを深くして直射日光から室内を守る役割を持たせることや、窓面に格子状のFRPグレーチングを転落防止の柵を兼ねて取付け、窓を開放できるようにしていることなどがあげられる。階段室を校舎中央部に持ってきているので、上がりきったところの窓を開けて煙突効果をつくり、校舎内に空気の流れをつくり出すこともできているようだ。FRPグレーチングは

淡い緑色をしており、この緑を活かしたカラーリングが、図書室の閲覧機の天板などちょっとしたところに用いられている。

校舎の特色

南側の普通教室は一直線に教室をおかず、学年4学級のまとまりごとに雁行させた。学年4学級で計画されており、間には壁をガラスやガラリで仕上げた手洗いを組み込み、光と風を校舎内に取込む意図がある。教室はそれぞれ教室空間を確保し、各階中央に多目的スペースが設けられている。各階とも教室に向かい合った側はオープンになっており、向かいの教室に配慮しながらも、学年単位などで様々な活動に使用している

と生出宏校長は使われ方を話してくれた。

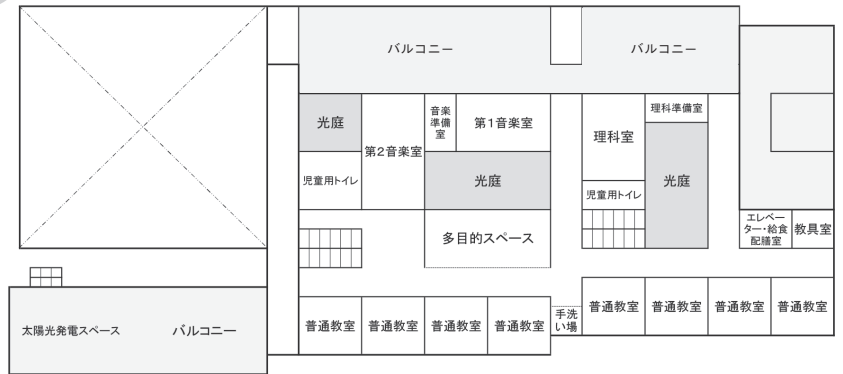
特別支援教室には、教育委員会内での特別支援教育課からの意見を参考に、図書館などで閲覧席として使われるような個別ブースを8席用意して、学習室においている。落ち着いた環境で学習に取り組むことができると、個別支援学級の児童のみならず、一般学級で落ち着きを失ってしまった児童への対応としても使われているようだ。

学びの中心に学校図書館

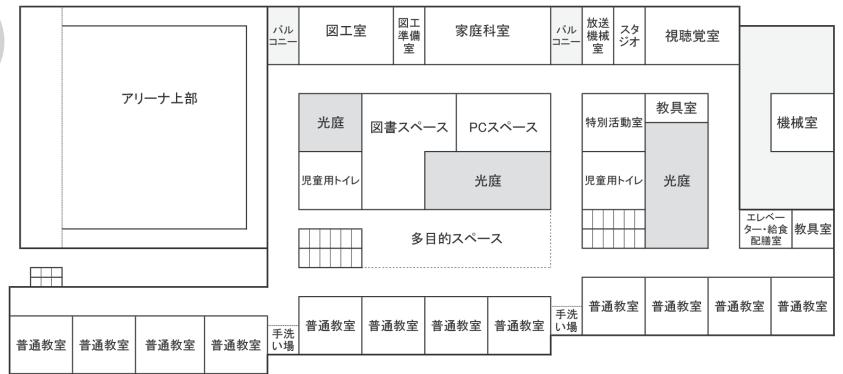
校舎中央となる2階の多目的スペースに隣接して学校図書館とコンピュータ教室がおかれている。室内でつながっており、閲覧スペースもま

とまって確保されているので、本とコンピュータを併用した調べ学習を展開しやすいようにしつらえられている。同校には、昨秋より学校司書が教育委員会より派遣されており、本を魅力的にし、児童が図書館に来たくなるような環境づくりが積極的になされているという。こうした取組を学習でも活かして子どもたちの力を伸ばしていきたいと生出校長は、学校のこれからについて展望を語ってくれた。

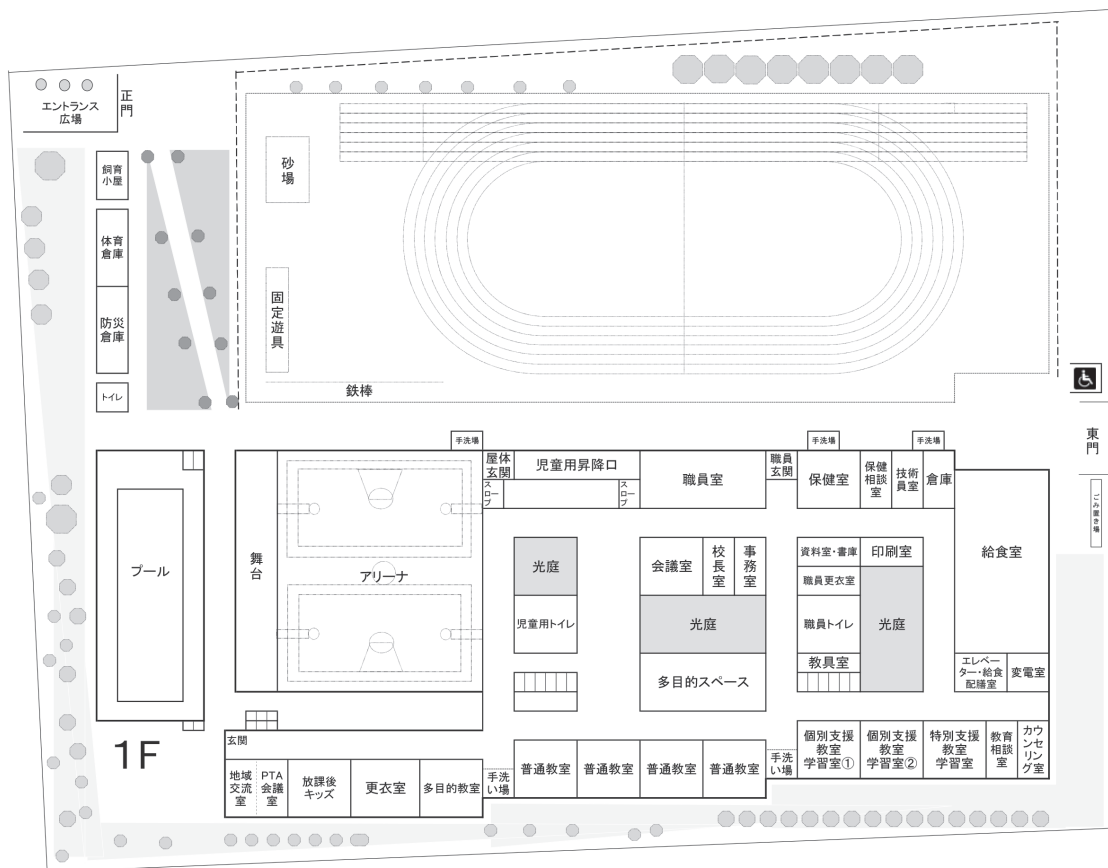
3F
平面図



2F
平面図



配置図
1F
平面図



施設概要

正式名称：横浜市立美しが丘西小学校
 所在地：神奈川県横浜市青葉区美しが丘西2丁目48番地1
 用途地域：第一種低層住居専用地域
 建ぺい率：28.9%（許容 40%（角地緩和50%））
 容積率：58.6%（許容 80%）
 敷地面積：15,690.46㎡
 建築面積：4,534.95㎡
 延床面積：9,193.84㎡
 構造規模：RC造 地上3階
 設計期間：平成21年12月～平成23年3月
 工事期間：平成23年9月～平成24年12月
 設計監理：(株)飯田善彦建築工房
 施工：三木・相鉄・風越建設共同企業体（建築）、新興・向栄建設共同企業体（空調・給排水衛生）、(株)光電社（電気）、青野建設(株)、(株)東亜電機製作所、神原興業(株)、富士造園(株)（外構）、日本オーチス・エレベータ(株)（昇降機）
 建設総事業費：2,067,081千円（税込、用地費除く）
 受けた補助事業：公立学校施設整備費負担金、学校施設環境改善交付金

■外部仕上げ
 〈校舎〉
 屋上：アスファルト防水（AI-2同等以上）歩行用保護コンクリート t 80
 外壁：コンクリート打ち放しの上複数塗材 RE
 開口部：t4強化（透明又は型板）ガラス
 〈屋内運動場〉
 屋根：t 0.5カラーガルバリウム鋼板タテハセ葺
 外壁：コンクリート打ち放しの上複数塗材 RE
 開口部：t4強化（透明又は型板）ガラス

■内部仕上げ（代表的な部屋）
 〈普通教室〉
 天井：化粧吸音石膏ボード t 9.5
 壁：シナ合板 t 5.5目透し張り UC
 床：ビニル床タイル t 2

〈音楽室〉
 天井：石膏ボード下地 t 9.5ロックウール化粧吸音板 t 12目透し張り
 壁：有孔シナ合板 t 9.5目透し張り UC
 床：ビニル床タイル t 2（フローリング調）

■空調設備
 冷暖房方式：普通教室、管理室等ガスヒートポンプ式ビル用マルチエアコン（GHP）
 特別教室等暖房のみの部屋はFF暖房機、技術員控え室、給食休憩室等はルームエアコン（EHP）

■電気設備
 受変電設備：キュービクル（屋内1階）受電設備容量325（kVA）
 照明器具：Hf蛍光灯、一部LED

■給排水衛生設備
 水源：基本的には直結給水方式。トイレ洗浄水は雨水利用
 給水：給水本管より100Aにて引込、校舎は75A、プールは50Aに分けて供給
 排水：室内は汚水、雑排水分流として屋外で合流
 給湯：ガス瞬間給湯器による局所給湯を行う
 ガス：ガス本管より150Aにて引き込み。一般系統、GHP系統、厨房系統に分けて供給。一部災害対策用でプロパンガス系統

■情報通信設備
 校内LAN：有線式
 端末設置箇所：校長室、職員室、事務室、保健室
 インターネット接続：あり
 その他設備：視聴覚室にプロジェクタ設置

■プール設備
 構造：鉄筋コンクリート造
 水面積：175㎡
 浄水設備：なし
 ろ過設備：砂ろ過設備

■屋外環境
 校舎周り：アスファルト舗装、インターロッキング舗装、コンクリート舗装、排水施設
 グラウンド：砕石スクリーニング舗装、校庭散水設備、サッカーコート、直走路、13連鉄棒、複合遊具、砂場、旗竿ポール3箇所、破鈴ポール2箇所、グラウンドマーク

その他：学級箱、百葉箱
 外周部分：防球ネット設置、メッシュフェンス設置、アルミ製門扉設置
 植栽・緑化：ソメイヨシノ等高木、サツキツツジ等中低木、コウライシバ等地被類

■給食調理室概要
 栄養士：1名
 委託調理員：10名
 調理能力：最大960食/日
 主な使用機器
 パススルー食品冷蔵庫(1200×800×2000)、パススルー食品冷凍庫(900×800×2000)、スチームコンベクションオーブン(1100×1000×1900)、食器洗浄機(2槽式：3000×1200×1400)、カット牛乳保冷庫(1800×1000×2325)

学校概要

（平成25年5月現在）

校長：生出 宏
 URL：<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaokanishi/>
 電話：045-902-0450
 児童数：806名（個別支援学級を含む）
 学級数：26（うち、個別支援学級2）

交通：東急田園都市線【たまプラーザ駅】より
 ◇美しが丘西行き薬師台公園バス停より徒歩1分
 ◇虹ヶ丘営業所行き保木バス停より徒歩6分
 東急田園都市線、横浜市営地下鉄ブルーライン【あざみ野駅】より
 ◇田園調布学園大学行き桜アベニューバス停より徒歩5分